

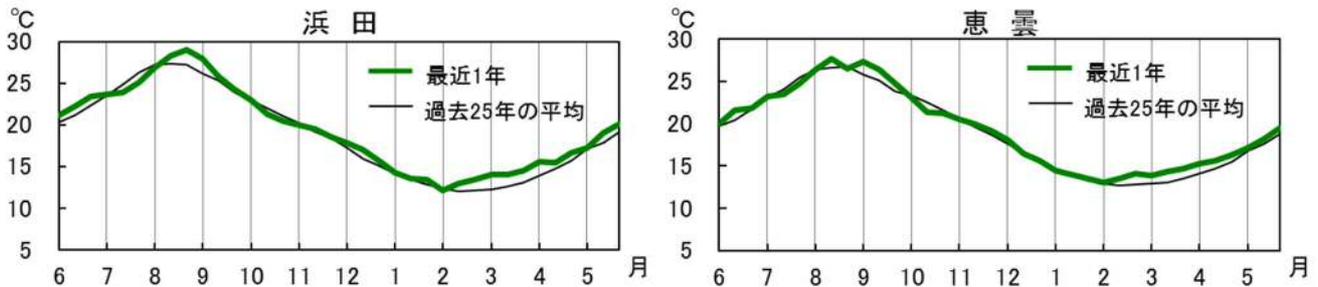


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《5月の海況》



5月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	18.9℃	+0.7℃	平年並み	18.3℃	+0.4℃
中旬	かなり高め			やや高め		
下旬	かなり高め			やや高め		



《5月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の1割、サバ類は平年の1割未満でした。隠岐地区ではマイワシ、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は49.0トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは1,945トンで平年の5割、マアジは1,612トンで平年の5割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ（全体の58%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は305.3kgで平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は44.0kgで平年を下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではケンサキイカ、キダイ、マトウダイ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は10.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の2.4倍、キダイは平年の1.6倍、マトウダイは平年の2.3倍でした。その他、マダイは平年の2.7倍と好調でしたが、アナゴ・ハモ類は平年の1.0倍、アンコウ類は平年の6割、ムシガレイは平年の5割、スルメイカは平年の4割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではソウハチ、ケンサキイカ、アナゴ・ハモ類主体の漁況で、総漁獲量は202トンでした。1統1航海当りの漁獲量は738kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ソウハチは平年の7割、ケンサキイカは平年の3.5倍、アナゴ・ハモ類は平年の9割でした。その他、マトウダイは平年の2.1倍と好調でしたが、ニギスは平年の9割、ムシガレイは平年の8割、アンコウ類およびヒレグロは平年の7割、アカムツは平年の5割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではブリ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は19.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の4割、マアジは平年の1.0倍でした。石見地区ではマアジ、ケンサキイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は16.2トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の8割、ケンサキイカは平年の7割でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は34.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の7割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は26.3kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の4割でした。石見地区ではケンサキイカ、アマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は16.2kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の7割、アマダイは平年の9割でした。隠岐地区ではカサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は20.3kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、カサゴ・メバル類は平年の8割でした。

【令和3年5月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、マアジ	4,556トン	51%	57%	49.0トン	75%	79%	△
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	25.6トン	220%	393%	305.3kg	139%	225%	◎
	西郷	スルメイカ	1.3トン	5%	7%	44.0kg	20%	29%	▲
沖合 底びき網	浜田	ケンサキイカ、キダイ、マトウダイ	220トン	78%	94%	10.5トン	75%	85%	▲
小型 底びき網	大田	ソウハチ、ケンサキイカ、アナゴ・ハモ類	202トン	129%	76%	738kg	95%	104%	○
定置網 (大型)	出雲	ブリ、マアジ	257トン	72%	65%	19.8トン	72%	66%	▲
	石見	マアジ、ケンサキイカ	49トン	59%	58%	16.2トン	79%	84%	○
	隠岐	ブリ	104トン	116%	73%	34.6トン	116%	73%	○
釣り・縄	出雲	ブリ	29.2トン	54%	47%	26.3kg	96%	88%	○
	石見	ケンサキイカ、アマダイ	17.5トン	59%	48%	16.2kg	86%	86%	▲
	隠岐	カサゴ・メバル類	14.8トン	49%	49%	20.3kg	65%	74%	▲

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ